



## 菅 前総理 ライドシェア解禁に意欲。

### — 人命より経済を優先する愚考 —

菅 義偉 前首相(自民党)は19日、長野市内での講演の中で「ライドシェア解禁」への意欲を示した。

これは、長野青年会議所創立70周年の記念講演において、規制緩和推進派である経済学者 成田 悠輔 氏と行ったディスカッションでの発言だ。

地方創生の為にはインバウンドの推進が必要であり、訪日外国人増加への対応として人手不足に苦しむタクシーの代替のライドシェア解禁について議論をしていく考えを述べたものだ。

会場には青年会議所の会員を中心に約 1,100 人が集まっていたとのことだが、ライドシェアについては、これまで国交省が「運行の責任の所在が明確でないライドシェアは、乗客の安全の確保と利便性の観点から認められない。」と一貫した考えを示しているにもかかわらず、地方創生を目的とした経済対策のためならば、安全の担保など蔑ろにするというのは愚考でしかない。

政治家の最大の使命は国民の生命と財産を守ることだ。

この命題に対し、仮にも一国の首相を務めた者が経済政策との両立を図る施策を持ち合わせていない事が深刻だ。

問題の本質を解決するための取り組みを我々働く仲間も事業者と一体となって考えていかなければならない。